

マーケットの動き（2024年12月9日～12月13日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。週前半は、米国長期金利の上昇や中国共産党指導部が2025年に金融緩和と財政支出の拡大を進める方針を示したことで中国景気への懸念が後退したことなどから相対的に安全資産とされる債券は売られ国内長期金利は上昇しました。その後、一部の通信社の報道を受け、日銀による金融政策決定会合での利上げ期待が後退すると金利は低下しました。クレジット市場は、新発債との入れ替わりと見られる売りが増えたものの、流通市場での買いも断続的にあり、需給はやや改善しました。

投資環境見通し（2024年12月）

国内長期金利はさらなる上昇余地

日銀総裁が、経済データが利上げに向けて想定通りに推移しているとの認識を示し、加えて一段の円安に対するリスクを指摘していることから、日銀による早期の利上げ観測が広がっています。国内長期金利は、来年1月までに追加利上げが行われるとの投資家の見方を背景に、さらなる上昇余地があるとみています。

	12月13日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	1.04	▲0.02	▲0.00	0.06	0.34
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	358.75	0.18%	0.23%	▲0.21%	▲2.22%

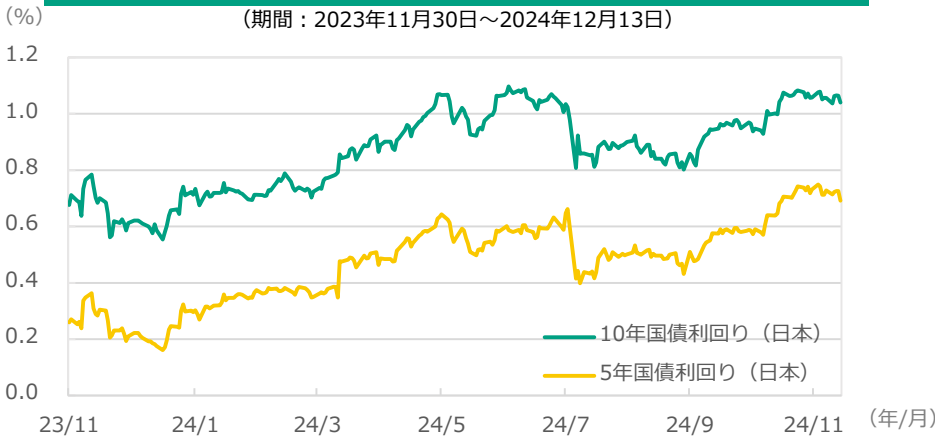
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202412_outlook.pdf

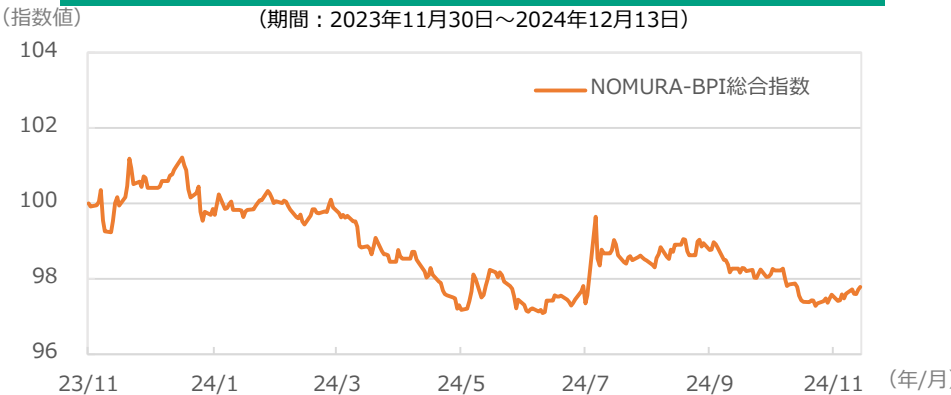
日本国債利回りの推移

（期間：2023年11月30日～2024年12月13日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2023年11月30日～2024年12月13日）



※2023年11月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>